

1 次変換による行列の導入

科目名：数学特論

担当：久保

実教出版「新版 線形代数」

実施日

M3：6/20(木) 3 コマ目

I3：6/25(火) 1 コマ目

S3：6/25(火) 3 コマ目

<https://kubo-yuge.github.io/>

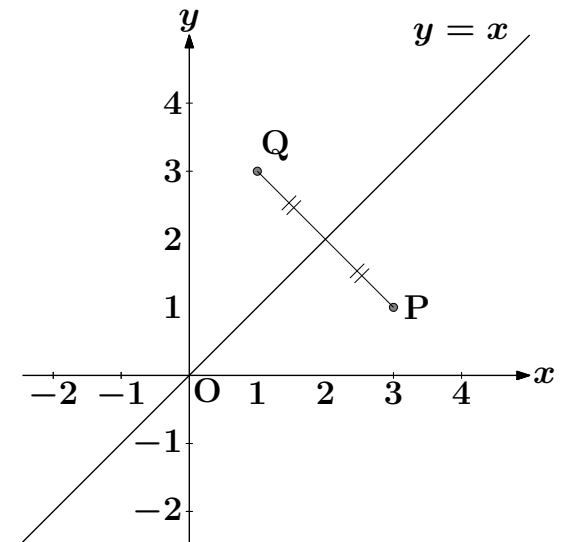
学習目標

- 1 次変換を行列で表現できる。
- 1 次変換により行列の積を考えることができる。

問題 1.

平面上の点 $P(x, y)$ が直線 $y = x$ に関する対称移動した点を $Q(x', y')$ とするとき, x', y' を x, y の式で表せ。

(答)

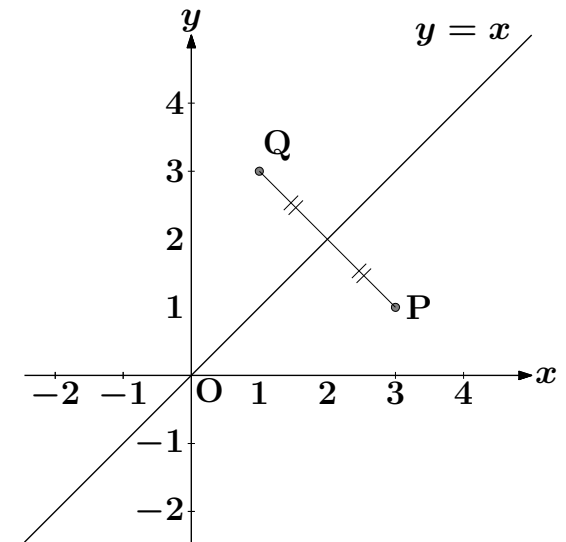


問題 1.

平面上の点 $P(x, y)$ が直線 $y = x$ に関する対称移動した点を $Q(x', y')$ とするとき, x', y' を x, y の式で表せ。

(答)

リンク先の画像をクリックし,
点 P を動かしてみましょう。



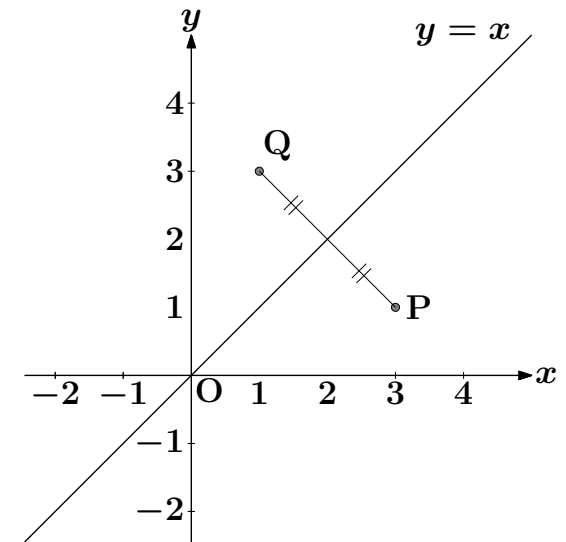
<https://kubo-yuge.github.io/>

問題 1.

平面上の点 $P(x, y)$ が直線 $y = x$ に関する対称移動した点を $Q(x', y')$ とするとき, x', y' を x, y の式で表せ。

(答)

$$\begin{cases} x' = y \\ y' = x \end{cases}$$



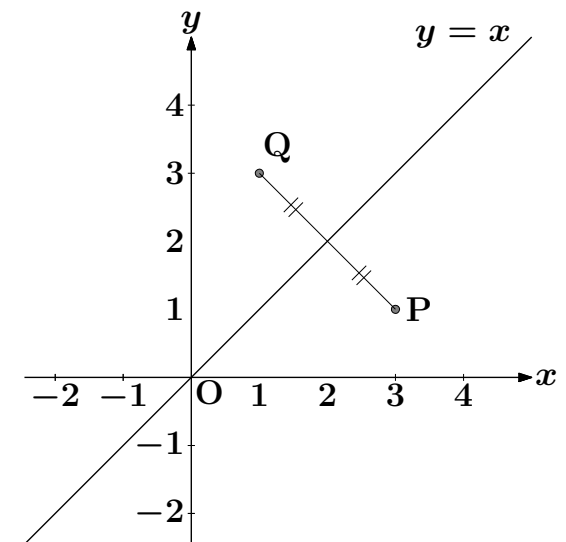
問題 1.

平面上の点 $P(x, y)$ が直線 $y = x$ に関する対称移動した点を $Q(x', y')$ とするとき, x', y' を x, y の式で表せ。

(答)

$$\begin{cases} x' = y \\ y' = x \end{cases}$$

※ この移動は 1 次変換です。
これを f とし, f について
考えることにする。



1 次変換とは

平面上の点 $P(x, y)$ を点 $Q(x', y')$ に移す変換

$f : (x, y) \mapsto (x', y')$ において,

x', y' が定数項のない x, y の 1 次式

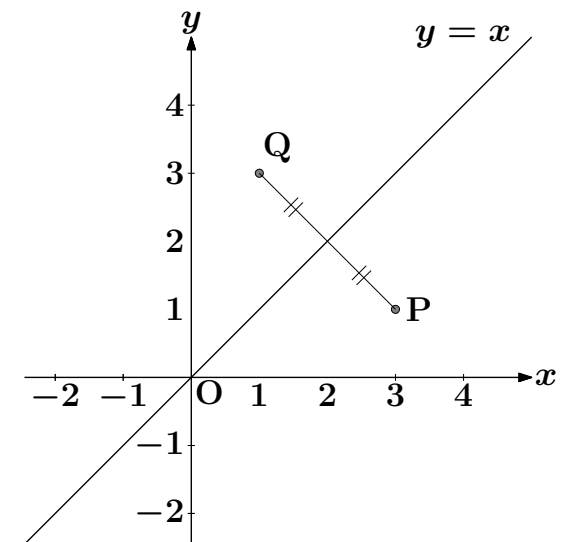
$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases} \quad (a, b, c, d \text{ は定数})$$

で表されるとき, この変換 f を **1 次変換** または **線形変換** という。

問題1の f は1次変換である

問題1の f は,

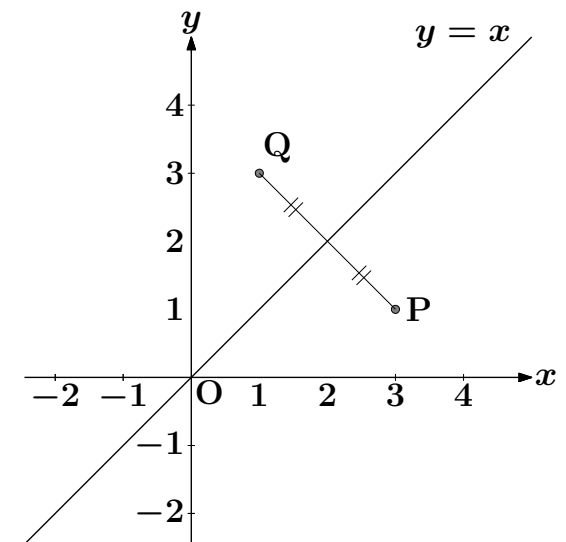
$$\begin{cases} x' = & y \\ y' = x \end{cases}$$



問題1の f は1次変換である

問題1の f は,

$$\begin{cases} x' = 0x + 1y \\ y' = 1x + 0y \end{cases}$$

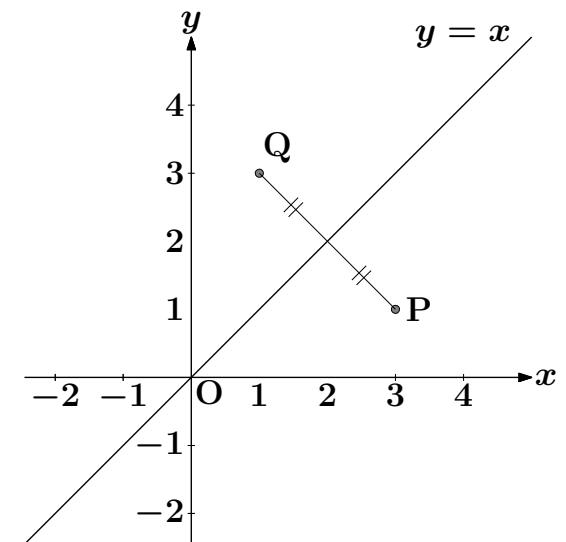


問題1の f は1次変換である

問題1の f は、

$$\begin{cases} x' = 0x + 1y \\ y' = 1x + 0y \end{cases}$$

と書けるので、

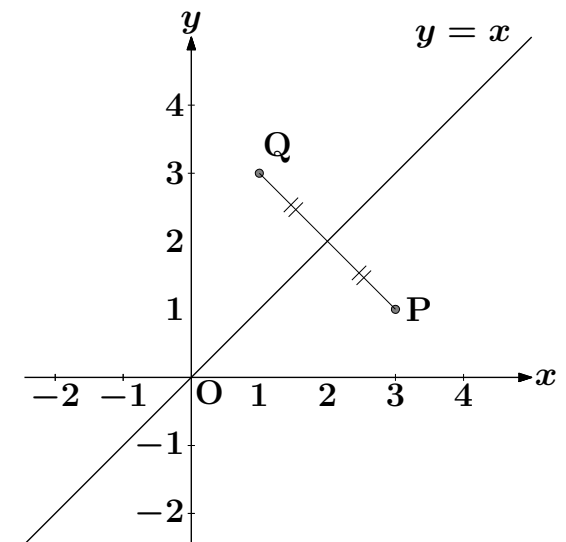


問題1の f は1次変換である

問題1の f は、

$$\begin{cases} x' = 0x + 1y \\ y' = 1x + 0y \end{cases}$$

と書けるので、1次変換である。



1 次変換 f を行列で表す (1)

平面上の点 $P(x, y)$ を点 $Q(x', y')$ に移す 1 次変換 $f : (x, y) \mapsto (x', y')$ が、
$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases} \quad (a, b, c, d \text{ は定数})$$

で表されるとき、

1 次変換 f を行列で表す (1)

平面上の点 $P(x, y)$ を点 $Q(x', y')$ に移す 1 次変換 $f : (x, y) \mapsto (x', y')$ が,

$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases} \quad (a, b, c, d \text{ は定数})$$

で表されるとき,

1 次変換 f を行列で表す (1)

平面上の点 $P(x, y)$ を点 $Q(x', y')$ に移す 1 次変換 $f : (x, y) \mapsto (x', y')$ が,

$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases} \quad (a, b, c, d \text{ は定数})$$

で表されるとき,

$$\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix}$$

1 次変換 f を行列で表す (1)

平面上の点 $P(x, y)$ を点 $Q(x', y')$ に移す 1 次変換 $f : (x, y) \mapsto (x', y')$ が,

$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases} \quad (a, b, c, d \text{ は定数})$$

で表されるとき,

$$\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix}$$

というように**列ベクトル**で表す。

1 次変換 f を行列で表す (2)

連立 1 次式

$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases} \quad (a, b, c, d \text{ は定数})$$

に対し,

1 次変換 f を行列で表す (2)

連立 1 次式

$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases} \quad (a, b, c, d \text{ は定数})$$

に対し, その係数を並べて**係数行列**という。

1 次変換 f を行列で表す (2)

連立 1 次式

$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases} \quad (a, b, c, d \text{ は定数})$$

に対し，その係数を並べて**係数行列**という。
この式で表される 1 次変換 f に対し，

1 次変換 f を行列で表す (2)

連立 1 次式

$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases} \quad (a, b, c, d \text{ は定数})$$

に対し, その係数を並べて**係数行列**という。

この式で表される 1 次変換 f に対し,

$$\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix}$$

1 次変換 f を行列で表す (2)

連立 1 次式

$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases} \quad (a, b, c, d \text{ は定数})$$

に対し, その係数を並べて**係数行列**という。

この式で表される 1 次変換 f に対し,

$$\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix} \text{ を係数行列 } \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$$

1 次変換 f を行列で表す (2)

連立 1 次式

$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases} \quad (a, b, c, d \text{ は定数})$$

に対し, その係数を並べて**係数行列**という。

この式で表される 1 次変換 f に対し,

$$\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix} \text{ を係数行列 } \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \text{ を使って,}$$

1 次変換 f を行列で表す (2)

連立 1 次式

$$\begin{cases} x' = ax + by \\ y' = cx + dy \end{cases} \quad (a, b, c, d \text{ は定数})$$

に対し, その係数を並べて**係数行列**という。

この式で表される 1 次変換 f に対し,

$$\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix} \text{ を係数行列 } \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \text{ を使って,}$$

$$\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \cdots (*) \text{ と表すこととする。}$$

1 次変換 f を行列で表す (3)

問題 1 の 1 次変換 f は,

$$\begin{cases} x' = 0x + 1y \\ y' = 1x + 0y \end{cases} \quad \text{と書けたから, } f \text{ を表す行列 } A \text{ は,}$$

1 次変換 f を行列で表す (3)

問題 1 の 1 次変換 f は,

$$\begin{cases} x' = 0x + 1y \\ y' = 1x + 0y \end{cases} \quad \text{と書けたから, } f \text{ を表す行列 } A \text{ は,}$$

$$A = \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix} \text{ となる。}$$

1 次変換 f を行列で表す (3)

問題 1 の 1 次変換 f は,

$$\begin{cases} x' = 0x + 1y \\ y' = 1x + 0y \end{cases} \quad \text{と書けたから, } f \text{ を表す行列 } A \text{ は,}$$

$$A = \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix} \text{ となる。}$$

行列 A を使って, 点 $(1, 0)$, $(0, 1)$ の f による移動先を求めてみよう。

行列 A と列ベクトルの積

$$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \text{ のとき,}$$

行列 A と列ベクトルの積

$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ のとき、点 $(1, 0)$, $(0, 1)$ の移動先は、

行列 A と列ベクトルの積

$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ のとき、点 $(1, 0)$, $(0, 1)$ の移動先は、

※ 式 (*) より $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix}$ を使う。

行列 A と列ベクトルの積

$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ のとき、点 $(1, 0)$, $(0, 1)$ の移動先は、

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix} =$$

※ 式 (*) より $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix}$ を使う。

行列 A と列ベクトルの積

$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ のとき、点 $(1, 0)$, $(0, 1)$ の移動先は、

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a \\ c \end{pmatrix}$$

※ 式 (*) より $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix}$ を使う。

行列 A と列ベクトルの積

$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ のとき、点 $(1, 0)$, $(0, 1)$ の移動先は、

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a \\ c \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix} =$$

※ 式 (*) より $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix}$ を使う。

行列 A と列ベクトルの積

$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ のとき、点 $(1, 0)$, $(0, 1)$ の移動先は、

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a \\ c \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} b \\ d \end{pmatrix}$$

※ 式 (*) より $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix}$ を使う。

行列 A と列ベクトルの積

$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ のとき、点 $(1, 0)$, $(0, 1)$ の移動先は、

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a \\ c \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} b \\ d \end{pmatrix}$$

2つの列ベクトルを横に並べると、

行列 A と列ベクトルの積

$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ のとき、点 $(1, 0)$, $(0, 1)$ の移動先は、

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a \\ c \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} b \\ d \end{pmatrix}$$

2つの列ベクトルを横に並べると、

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$$

行列 A と列ベクトルの積

$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ のとき、点 $(1, 0)$, $(0, 1)$ の移動先は、

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a \\ c \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} b \\ d \end{pmatrix}$$

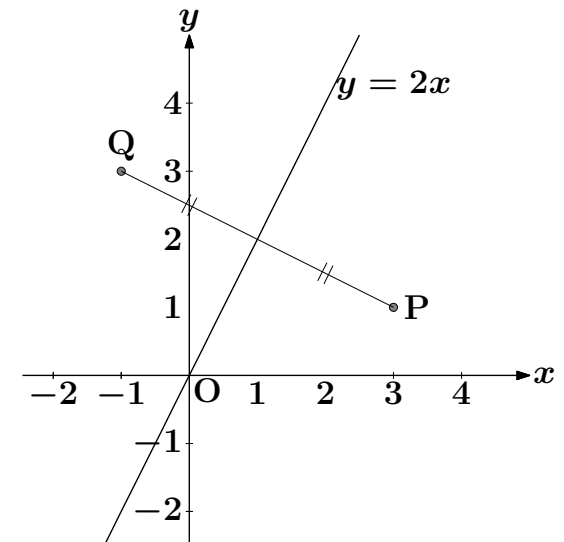
2つの列ベクトルを横に並べると、

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$$

問題 2.

平面上の点 $P(x, y)$ が直線 $y = 2x$ に関する対称移動した点を $Q(x', y')$ とするとき, x', y' を x, y の式で表せ。

(答)

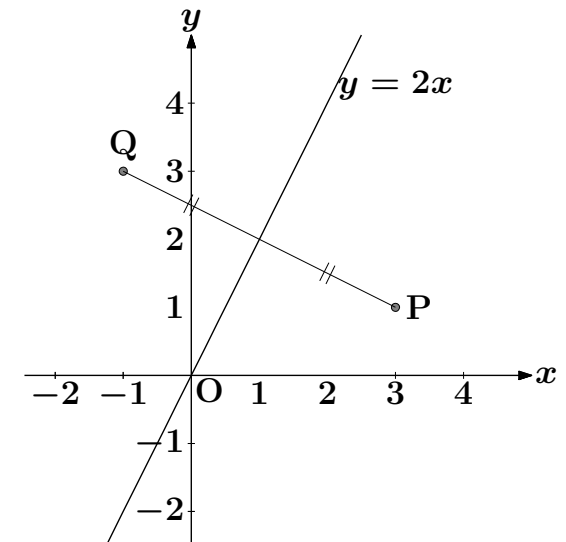


問題 2.

平面上の点 $P(x, y)$ が直線 $y = 2x$ に関する対称移動した点を $Q(x', y')$ とするとき, x', y' を x, y の式で表せ。

(答)

リンク先の画像をクリックし,
点 P を動かしてみましょう。



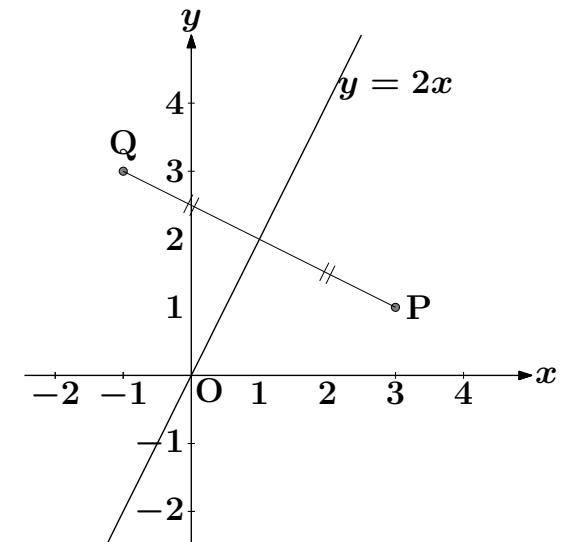
<https://kubo-yuge.github.io/>

問題 2.

平面上の点 $P(x, y)$ が直線 $y = 2x$ に関する対称移動した点を $Q(x', y')$ とするとき, x', y' を x, y の式で表せ。

(答)

リンク先の画像をクリックし,
点 P を動かしてみましょう。
どんな点 P を考えるといいかな。



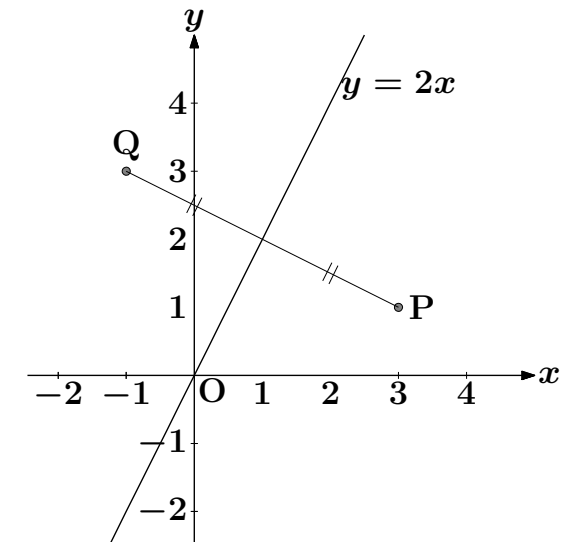
<https://kubo-yuge.github.io/>

問題 2.

平面上の点 $P(x, y)$ が直線 $y = 2x$ に関する対称移動した点を $Q(x', y')$ とするとき, x', y' を x, y の式で表せ。

(答)

リンク先の画像をクリックし、
点 P を動かしてみましょう。
どんな点 P を考えるといいかな。
点 P として、点 $(1, 0)$ と点 $(0, 1)$
を選んで、点 Q を見てみよう。



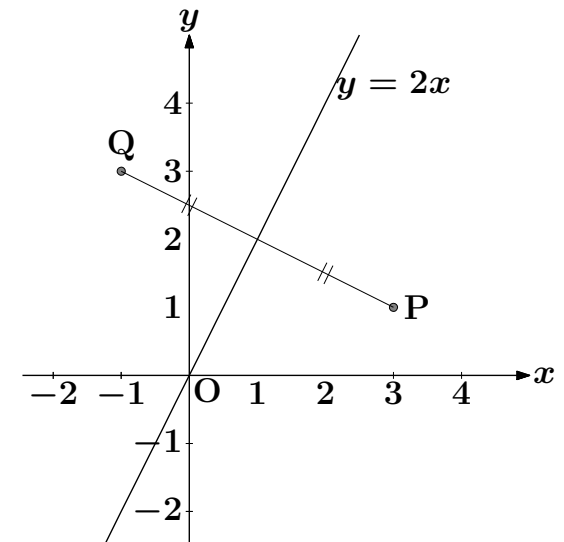
<https://kubo-yuge.github.io/>

問題 2.

平面上の点 $P(x, y)$ が直線 $y = 2x$ に関する対称移動した点を $Q(x', y')$ とするとき, x', y' を x, y の式で表せ。

(答)

$$\begin{cases} x' = -\frac{3}{5}x + \frac{4}{5}y \\ y' = \frac{4}{5}x + \frac{3}{5}y \end{cases}$$



まとめ

- 1 次変換の定義
- 1 次変換を表す行列
- 行列の積

まとめ

- 1 次変換の定義
- 1 次変換を表す行列
- 行列の積

まとめ

- 1 次変換の定義
- 1 次変換を表す行列
- 行列の積

まとめ

- 1 次変換の定義
- 1 次変換を表す行列
- 行列の積